

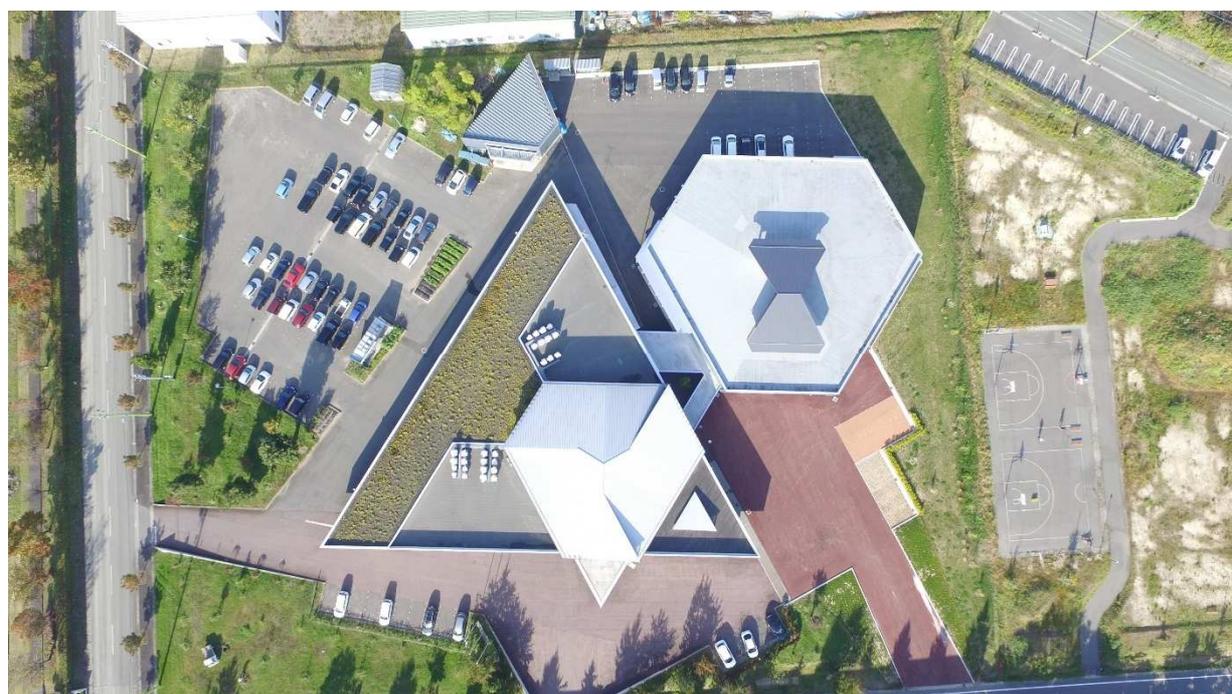
エコアクション21

環境経営レポート

2021 年度

(期間：2021 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日)

発行日：2022 年 9 月 30 日



株式会社 **マイスター**

<http://ymeister.co.jp>

目 次

1. 組織の概要	3
①事業所概要	
②エコアクション21推進体制（組織図）	
2. 認証・登録の範囲	4
3. 環境経営方針	5
4. 環境経営目標	6
5. 環境経営計画	7
6. 環境経営目標の実績及び評価	8
7. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	10
8. 環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	12
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	14
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	15

1. 組織の概要

①事業所概要

1) 事業者名及び代表者名

株式会社マイスター

代表取締役社長 高井 糧

2) 所在地

本社工場及び第2工場 〒991-0061 山形県寒河江市中央工業団地 156 番地 1

横浜営業所 〒225-0013 神奈川県横浜市青葉区荏田町 1150-42

※ 第3工場（寒河江市中河原 127-1）は現在稼働していない

3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 総務部 羽柴 健一

連絡先 電話 0237-86-4500（代表） FAX 0237-86-0252

URL <http://ymeister.co.jp>

E-mail somu@ymeister.co.jp

4) 創立年月日

1976年7月1日

5) 資本金

3,600万円

6) 事業内容 精密機械部品及び切削工具加工製造

切削工具加工部品、特殊工具加工部品



精密治工具製造、精密機械部品製造

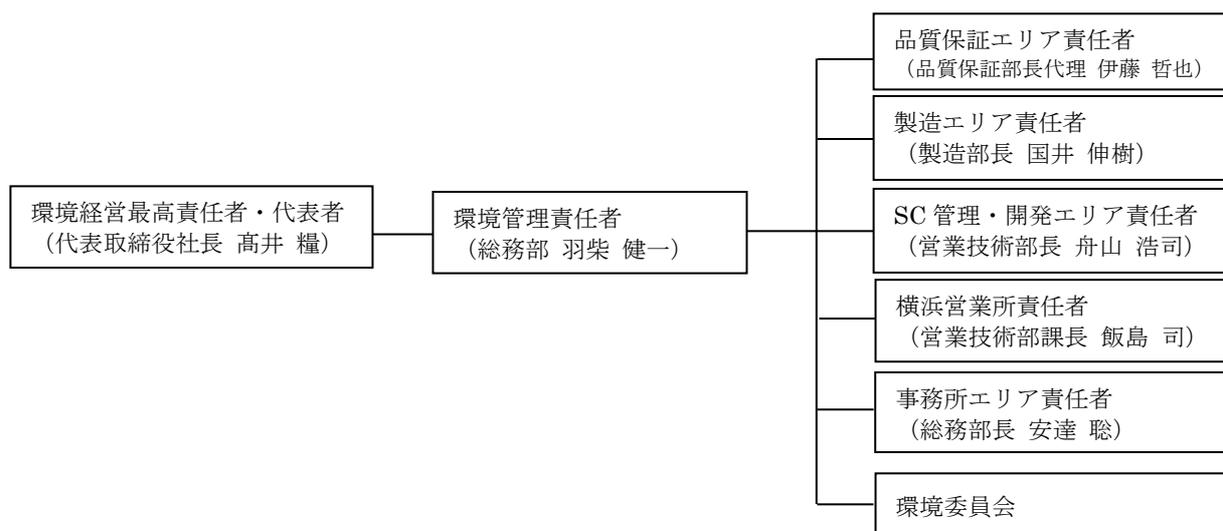


7) 事業規模

	単位	2019年度 2019.7.1~2020.6.30	2020年度 2020.7.1~2021.6.30	2021年度 2021.7.1~2022.6.30
総売上高	百万円	861	873	1,063
月平均売上高	百万円	72	73	88
従業員数	人	84	78	81
延べ床面積	m ²	4,248.53	4,248.53	4,248.53

②エコアクション 21 推進体制（組織図）

【(株)マイスター 環境マネジメント組織図】



● 役割、責任、権限

環境経営 最高責任者 (代表取締役 社長)	環境経営に関する基本理念・長期戦略・基本方針を制定し、経営における課題とチャンス を明確にして環境目標を設定し、全社員に周知する。
	環境管理責任者をはじめ必要な責任者を任命して実地体制を構築し、全従業員に 周知する。当該責任者には現在の責務に関わりなく役割、責任、権限を明示する。
	環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営所資源（人材・資金・機器設備・ 技術技能を含む）を準備する。
	環境経営システムの構築・運用に関する情報を収集し、方針・目標をはじめ、シス テム全体の見直しを行い、必要あれば改訂を指示する。
環境管理 責任者	当社代表者（環境経営最高責任者）に代わってガイドラインの要求事項を満たす環 境経営システムを構築・運用し、その状況を環境最高責任者に報告する。
	環境経営に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するた めに、環境経営推進委員会組織を運営する。
エリア責任 者	環境経営推進委員会の構成員として、環境経営最高責任者及び環境管理責任者を補 佐し、掌括範囲内の全員参画による、環境経営システムの運用と改善を推進する。
	また、自己の管理範囲内において、全員参画による環境経営システムの運用及び管 理に責務を負い、部門内の必要な人材育成、パフォーマンスの向上を図る。
部署長	自己の管理範囲内において、全員参画による環境経営システムの運用及び管理に 責務を負い、部署内担当者の選任・必要な教育訓練、パフォーマンスの向上を図る。
総務部	記録の作成、管理、システム運用上の事務管理を行う。
環境委員会	環境改善に関する会議・活動を実施する。
全社員	環境経営方針・計画の理解と実施を行う。

2. 認証・登録の範囲

株式会社マイスター

本社工場及び第 2 工場
横浜営業所

〒991-0061 山形県寒河江市中央工業団地 156 番地 1
〒225-0013 神奈川県横浜市青葉区荏田町 1150-42

3. 環境経営方針

—— 株式会社マイスター ——

環境経営方針

<基本理念>

株式会社マイスターは地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、「感謝・還元・久遠の社会」を合言葉に、全組織をあげて環境負荷の低減に努力します。

<行動指針>

株式会社マイスターは精密機械部品及び切削工具加工製造に関わる全ての生産又は消費活動とこれらの製品及びサービスの環境影響を低減するために、環境経営システムにより以下の環境保全活動を推進します。

1. 事業活動の全領域で、安全・安心を図り、省資源・省エネルギー・資源循環・エコライフ・製品含有規制化学物質管理などに配慮したモノづくりを行います。
2. 当社の生産又は消費活動、製品及びサービスに係わる環境関連法規、その他の要求事項を遵守し、環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営システムと環境保全実績が継続的に改善できるように推進します。
3. 次の項目を重点的なテーマとして環境目標を設定し、状況に合わせて目標を見直すなどの効果的な取り組みを行います。
 - (1) 二酸化炭素の削減
 - (2) 廃棄物の分別・削減及びリサイクルの促進
 - (3) 化学物質使用量の削減
 - (4) 総排水量の削減
 - (5) 工場周辺の清掃等社会貢献
 - (6) グリーン購入の推進
4. 環境保全関連の行政機関・団体等の環境保全施策に協力すると共に、最上川の水環境をはじめ、地域社会の環境保全活動に協力します。
5. 一人一人が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ると共に恒久的な環境に配慮した経営を推進します。このため、この環境宣言を全従業員に周知し、社外へも公表します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境経営システムを推進します。

改定日：2015年4月1日

改定日：2010年7月1日

制定日：2008年7月1日



株式会社 マイスター
代表取締役社長 高井 糧

4. 環境経営目標

●主な環境目標と中期目標、担当部署責任者

2022年5月13日

No.	重点目標	2021年度 目標	2022年度・2023年度・2024年度 目標	責任者
1	(省エネルギー化) 二酸化炭素削減	売上 100万あたりの 排出量 2020年度比 1%削減	売上 100万円あたりの排出量 前年比 1%削減	製造部長
2	(廃棄物削減) 一般・産業廃棄物削減	売上 100万円あたりの廃 棄量 2020年度比 1%削減	売上 100万円あたりの廃棄量 前年比 1%削減	製造部長
3	(省資源化) 事務用紙使用量削減	2014年割合の維持 (維持目標)	2014年割合の維持 (維持目標)	総務部長
4	(グリーン調達) グリーン購入推進	2014年割合の維持 (維持目標)	2014年割合の維持 (維持目標)	総務部長
5	(地域社会との環境調和) 清掃等社会貢献	年2回実施	年2回実施	総務部長
6	(総排水量削減) 水使用量削減	一人当たり水量の管理 (維持目標)	一人当たり水量の管理 (維持目標)	総務部長
7	(化学物質使用量削減) 化学物質使用ゼロ	使用ゼロ	使用ゼロ	製造部長
8	リサイクル刃物の回収量	2014年 収集量を維持目標	2014年収集量を維持目標	営業技術 部長

当社では二酸化炭素排出や廃棄物の削減について、2015年以降より売上高100万円当たりの削減率を取り入れた目標を設定し取り組んでおります。その他の項目も維持目標としており、特にエコアクション21の認証以前から当社独自で取り組んできたレアメタルのリサイクルについてはマイスターらしいあたりまえの活動として今後も維持・継続してまいりたいと思います。また、目標としてはおりませんが、企業として社員の健康維持と増進に努め、健全で働きやすい職場を作ることが環境全体の負荷を軽減することになる、と言う視点から『健康エコアクション』に取り組んでおり、日本健康会議様より健康経営優良法人2022の認定も受けております。



【会社周辺の公道清掃】



【健康経営優良法人 2022】

5. 環境経営計画

活動・取組項目		活動の具体的内容	
1	省エネルギー化(電力)	1.1	設備電源の空転時停止
	売上100万円当りの使用量 2020年比1%減(単位kwh)	1.2	エアコン温度・運転の適正管理
		1.3	休憩時間の不使用箇所の消灯
		1.4	廊下やトイレの不必要な電灯の消灯
		1.5	空調機のフィルターの点検清掃
2		省エネルギー化(灯油)	2.1
	売上100万円当りの使用量 2020年比1%減(単位kwh)	2.2	デマンド警告による空調温度管理
		2.3	クールビズ・ウォームビズ励行
3	省エネルギー化(ガソリン)	3.1	アイドリングストップ
	売上100万円当りの使用量 2020年比1%減(単位kwh)	3.2	エコドライブ項目実施
4		廃棄物削減	4.1
	売上100万円当りの使用量 2020年比1%減(単位kwh)	4.2	小まめな分別後の廃棄実践
		4.3	ゴミ箱の統一と表示
		4.4	廃棄物の再利用
		4.5	通い箱化の推進
		4.6	梱包資材の再利用
5	省資源化	5.1	両面コピーの活用
	売上100万円当りの使用量 2014年の水準に維持する	5.2	裏面の再利用
		5.3	パソコン・電子メールの活用
6	グリーン調達	6.1	エコ商品カタログの活用
	2014年の購入割合を維持する。	6.2	エコ商品への切り替えの推進
7		環境調和	7.1
	工場周辺の清掃等社会貢献活動、年2回実施(単位:回)	7.2	最上川水質保全活動
		7.3	工場間移動時のゴミ拾い
8	総排水量削減	8.1	手洗い水と洗剤の節約
	一人当たりの市水使用量を2014年の 水準に維持する。	8.2	地下水使用の節約(水遣り)
		8.3	地下水使用の節約(融雪)
9	化学物質使用量削減	9.1	調達資材の確認

6. 環境経営目標の実績及び評価

● 2021年度目標の達成状況

No.	重点推進項目 (削減目標)	単位	2021年度 目標	2021年度 実績	達成率 %	適合性評価 ○：目標以上 △：80%以上 ×：80%未満
1	二酸化炭素排出量 売上 100万円あたりの排出量 2020年度比 1%削減	kg	564.5	509.0	110.9%	○
2	電力使用量 売上 100万円あたりの使用量 2020年度比 1%削減	kWh	999.7	880.2	113.6%	○
3	灯油使用量 売上 100万円あたりの使用量 2020年度比 1%削減	ℓ	5.42	7.69	70.5%	×
4	ガソリン使用量(本社) 売上 100万円あたりの使用量 2020年度比 1%削減	ℓ	12.63	9.93	127.2%	○
5	ガソリン使用量(横浜) 売上 100万円あたりの使用量 2020年度比 1%削減	ℓ	1.94	2.53	76.7%	×
6	一般廃棄物削減 売上 100万円あたりの廃棄量 2020年度比 1%削減	kg	4.36	3.30	132.1%	○
7	産業廃棄物削減(廃金属) 売上 100万円あたりの廃棄量 2020年度比 1%削減	kg	1.17	1.64	71.3%	×
8	産業廃棄物削減(廃油) 売上 100万円あたりの廃棄量 2020年度比 1%削減	ℓ	12.26	6.86	178.7%	○
9	事務用紙使用量削減(コピー用紙) 2014年割合の維持 (維持目標)	枚	180,000	267,500	67.3%	維持目標
10	グリーン購入 推進 2014年割合の維持 (維持目標)	%	68.60	66.30	96.6%	維持目標
11	清掃等社会貢献 (地域社会との環境調和) 年2回実施	回	2	3	150.0%	○
12	一人当たり水量の管理 (維持目標)	m ³	0.62	0.97	63.9%	維持目標
13	化学物質使用量 削減 使用ゼロ	kg	0	0	100.0%	○
14	リサイクル刃物の回収量 2014年収集量を維持目標	kg	1,579	980	62.1%	維持目標

1の二酸化炭素排出量は、2017年度実績の東北電力(株)温室効果ガスの調整後排出係数 0.523 kg-CO₂/kWh にしております。

●環境負荷実績

環境への負荷		単位	2019年	2020年	2021年	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg	484,764	497,762	517,020	
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	t	6.1	3.8	3.4	
	産業廃棄物	廃金属	t	0.7	1.0	1.7
		廃油	t	14.0	10.8	6.2
③ - 1 総排水量	公共用水域	m ³	-	-	-	
	下水道	m ³	582	680	886	
④ - 2 水使用量	上水	m ³	582	680	886	
	工業用水	m ³	-	-	-	
	地下水	m ³	-	-	-	
④エネルギー使用量	購入電力（新エネルギー除く）	MJ	8,287,564	8,645,731	8,784,491	
	化石燃料	MJ	650,514	560,766	738,603	
	新エネルギー	MJ	-	-	-	
⑤製品生産量	その他	t	20.2	18.6	23.6	

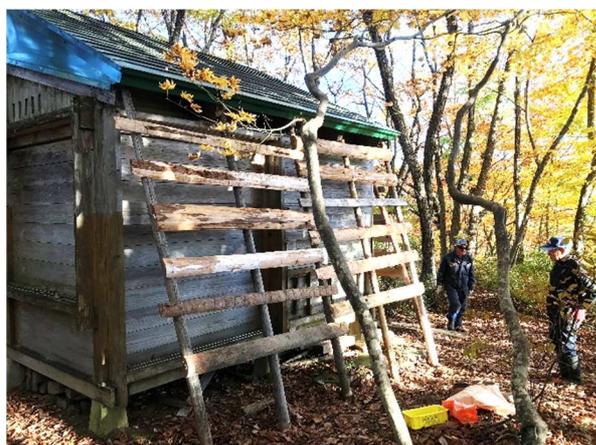
※購入電力の二酸化炭素排出量は、2017年度実績の東北電力㈱温室効果ガスの調整後排出係数0.523 kg-CO₂/kWhを使用しております。



【村山市の山小屋の屋根修理】



【会社で採れた枝豆】



【弓張平の山小屋の雪囲い】



【会社で採れたサツマイモ】

7. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

1. 省エネルギー化（電力使用量削減）

- ①第2工場屋上への散水による温度上昇対策
- ②グリーンカーテンによる温度上昇対策（直射日光を遮る、建物に熱を蓄積させない、植物が水分を蒸発させ周りの熱を奪う）
- ③コンプレッサーの運用変更による電力使用量の削減 ※次ページ参照

2. 省エネルギー化（灯油使用量削減）

- ①デマンド警告による空調温度管理 ※次ページ参照
- ②高効率空調設備への切り替えを検討

3. 省エネルギー化（ガソリン使用量削減）

- ①エコドライブ項目実施（携行環境方針にエコドライブ10記載）

4. 廃棄物削減（一般・産業廃棄物）

- ①廃棄区分毎の分別
- ②廃棄物の再利用、梱包資材の再利用

5. 省資源化

- ①両面コピーの活用、裏面の再利用
- ②複合機の使い方の周知による無駄な紙の出力の防止



【再資源化のための分類】

6. グリーン調達

- ①エコ商品カタログの活用（グリーン商品リストからの購入）
- ②エコ商品への切り替え

7. 環境調和

- ①工場周辺の清掃（寒河江市で造成した公園のゴミ拾い、草刈り）
- ②敷地内植樹活動（栗の木）
- ③募金活動（（公財）山形県みどり推進機構、ウクライナ義援金）
- ④リサイクル刃物の回収

8. 総排水量削減

- ①手洗い水と洗剤の節約

9. 化学物質使用量削減

- ①調達資材の確認

10. その他

- ①会社構内の畑耕作と野菜の栽培
- ②社内報による環境経営情報の発信
- ③マルチディスプレイ化による業務の効率化



【会社で採れた作物を料理して提供】

特に効果を得ることが出来た取組の紹介

1. 省エネルギー化（電力使用量削減）

③コンプレッサーの運用変更による電力使用量の削減

電気使用量についてはこれまでも削減を進めてきました。しかしエネルギーの安定供給確保や地球温暖化防止の観点、そしてウクライナ情勢などによる急激な電気料金の高騰に対応するために更なる削減に努める必要があります。そこで消費電力削減の効果を期待して省エネタイプのエアークンプレッサーを6月に導入しました。元々本社工場、第2工場の2台のエアークンプレッサーで運用していたものを、高効率な1台の設備でまかなえるように設計をし直し、より多くの電気使用量の削減ができるように取組んだものです。結果として削減率 28.0%（売上高 100 万円当たりの削減率は 33.1%）と電気使用量の削減に大きく貢献することが出来ました。

効果確認

2021年7月1日～7月31日（31日間）と2022年7月1日～7月31日

2021年7月1日～7月31日

本社工場エアークンプレッサー電力量	2644.35 kw
第2工場エアークンプレッサー電力量	9148.16 kw
合計	11792.51 kw

2022年7月1日～7月31日

本社工場エアークンプレッサー電力量	0 kw
第2工場エアークンプレッサー電力量	8491.94 kw
合計	8491.94 kw

2021年	2022年	削減電力量
11792.51	- 8491.94	= 3300.6 kw
		削減率 28.0%



省エネタイプ
エアークンプレッサー

2. 省エネルギー化（灯油使用量削減）

①デマンド警告による空調温度管理



夏場に冷房・冬場に暖房をつけるなどして規定量の電気を消費するとデマンド警告が鳴ります。デマンド計の近くの人達はそれに気づき対応しますが、そうでない人はその状況に気づかず節電の対応をしないため、デマンド警告が鳴りっぱなしといったことがありました。そこでデマンド計にセンサーを取り付け、デマンド警告が鳴った時に社内コミュニケーションツールである Slack に通知が行くようにし、全員がデマンド警告に気づけるようになりました。その結果、警告が鳴ったら近くの電気や空調設備を消すなど、現場で働く人たちの意識が向上し、節電行動に繋がるようになりました。

8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

●環境経営計画の取組結果とその評価

- ◎ … 十分に取組んだ ○ … ある程度取組んだ
 △ … やや不十分 × … 不十分

	活動の具体的内容	取組結果	評価
1	省エネルギー化(電力)		
1.1	設備電源の空転時停止	全体朝礼による周知を行った	○
1.2	エアコン温度・運転の適正管理	社内SNSでのデマンド通知で空調管理が良くなった	◎
1.3	休憩時間の不使用箇所の消灯	昼食時の消灯の徹底のみ	△
1.4	廊下やトイレの不必要な電灯の消灯	センサーによる自動消灯を取り入れている	○
1.5	空調機のフィルターの点検清掃	設備保全委員会の活動により定期清掃を随時行った	◎
1.6	コンプレッサの運用変更	エアコンプレッサの効率化で消費電力を下げる事が出来た	◎
1.7	屋上散水による温度上昇対策	電気量削減を期待して屋上散水を行ったが総排水量増加に繋がった	×
2	省エネルギー化(灯油)		
2.1	室温設定管理	全体朝礼による周知を行った	○
2.2	デマンド警告による空調温度管理	社内コミュニケーションツールにより適正に管理できた	◎
2.3	クールビズ・ウォームビズ励行	全体朝礼による周知を行った	○
2.4	高効率の空調機への入れ替え検討	高効率空調の見積もり取得 来年の入替えを提案中	○
3	省エネルギー化(ガソリン)		
3.1	アイドリングストップ	個別の周知にとどまった	△
3.2	エコドライブ項目実施	個別の周知にとどまった	△
3.3	専門講師を招いてのエコドライブ講習	未実施	×
4	廃棄物削減		
4.1	廃棄区分毎の分別	現場での分別を行っており、改善提案も出ている	◎
4.2	小まめな分別後の廃棄実践	全体朝礼による周知を行った	○
4.3	ゴミ箱の統一と表示	ゴミ箱は統一されているが表示は取れたままになっている	×
4.4	廃棄物の再利用	分別を行いいりサイクル化を進めており、改善提案も出ている	◎
4.5	通い箱化の推進	増減なし	△
4.6	梱包資材の再利用	再利用する仕組みが出来ている	◎
5	省資源化		
5.1	両面コピーの活用	可能な限り両面コピーを行っている	○
5.2	裏面の再利用	機密文書以外は裏紙として再利用している	◎
5.3	パソコン・電子メールの活用	活用している	○
5.4	マルチディスプレイ化による印刷物削減	マルチディスプレイ化で作業効率もアップし、印刷物の削減にも繋がった	◎
6	グリーン調達		
6.1	エコ商品カタログの活用	カタログを確認し購入している	○
6.2	エコ商品への切り替えの推進	エコ商品があるものは切り替えを行っている	△

■ 昨年の環境経営レポートで『次年度の取組内容』として取組んだ結果と評価

	活動の具体的内容	取組結果	評価
7	環境調和		
7.1	工場周辺の清掃	年2回の活動のほか、新入社員教育でも行っている	◎
7.2	最上川水質保全活動	活動なし	×
7.3	工場間移動時のゴミ拾い	工場内の清掃を徹底している	○
7.4	環境活動への積極的参加	昨年と同程度の参加となっている	△
8	総排水量削減		
8.1	手洗い水と洗剤の節約	センサーによる節水を行っている。洗剤の節約の取り組みを行う	△
8.2	地下水使用の節約(水遣り)	現在地下水を利用していない	-
8.3	地下水使用の節約(融雪)	現在地下水を利用していない	-
9	化学物質使用量削減		
9.1	調達資材の確認	引き続き化学物質使用ゼロを目指していく	◎
10	その他		
10.1	社内報による環境経営推進活動	環境経営推進活動は行ったが社内報での発信はなかった	△

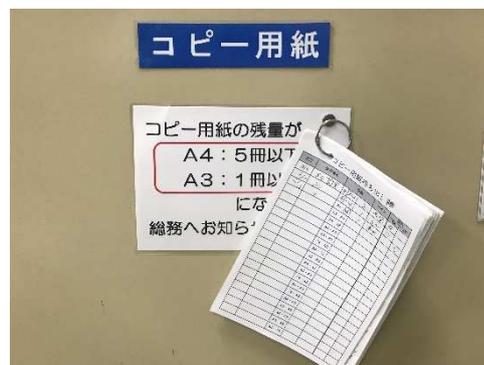
昨年の環境経営レポートで『次年度の取組内容』として取り組んだ結果と評価

●次年度の取組内容

	活動・取組項目	活動の具体的内容
1	省エネルギー化(電力)	グリーンカーテンの効果を定量評価する
2	省エネルギー化(灯油)	昨年に引き続き高効率の空調機への入れ替えを検討する
3	省エネルギー化(ガソリン)	社内SNSや社内報での情報発信を行う
4	廃棄物削減	一般廃棄物の分別、削減を更に進める取組を行う
5	省資源化	コピー用紙の部署毎管理、RFIDによる用紙削減の取組を行う
6	グリーン調達	エコ商品への切り替えを積極的に行う
7	環境調和	リサイクル刃物回収の協力会社数を維持するための取組を行う
8	総排水量削減	老朽化したトイレのレバーの事前確認・修理を行う
9	化学物質使用量削減	化学物質使用量ゼロを維持する
10	その他	DXの推進による業務効率化(勤怠管理等)を行う



【今期より横浜営業所も対応】



【コピー用紙持ち出し表による管理】

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規

法令等の名称	活動内容	評価
水質汚濁防止法	事故時の応急処置と届出書の提出	○
下水道法	公共下水道使用開始届の提出 事故時の応急処置と届出書の提出	○
消防法	少量危険物等貯蔵取扱届出書の提出	○
西村山広域行政事務組合火災予防条例		○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	産業廃棄物マニフェストによる管理 産業廃棄物の委託契約の締結 ①産廃物が飛散、流出、地下浸透しない措置をする ②保管場所に掲示板(60cm×60cm以上)	○
山形県産業廃棄物の処理に関する指導要綱	産業廃棄物管理責任者を置く 産業廃棄物を種類毎に区別して保管する マニフェストを管理する。	○
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	家庭用機器の長期間使用とリサイクルのための 特定廃棄業者への引渡し	○
使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	自動車の長期間使用と再資源化配慮した購 入選択	○
工場立地法	特定工場新設(変更)届出書の提出	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	①対象空調器の簡易点検の実施(1回/3か月)、圧縮機出力7.5kW以上のものついて、定期点検の実施(1回/3年) ②機器更新時に、適正・確実な回収・破壊	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)	対象物質の排出量・移動量を把握	○
RoHs指令、ELV指令等 含有化学物質規制	製品への含有化学物質禁止規制	○
国等による環境物品等の調達の推進に関する法律 (グリーン購入法)	環境負荷の物品調達の選択	○

※2021年7月より横浜営業所も適用

(2) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

2021年度において環境関連法規等は遵守しており、違反はありません。
また、関係当局からも特に指摘は無く、過去17年間、訴訟も同様に有りません。

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

マイスターのエコアクション 21 の取組は 17 年目となりました。今年度から横浜営業所も環境経営目標を定め、全社の取組となっております。また、社員全員が参加する委員会活動も環境への取組を率先して行っており、様々な環境経営目標達成の一助となるなど活動の幅も広がってきました。今年度の売上についてはコロナ禍により様々な影響を受けたものの昨年度より大幅に増加しております。しかし、その分エネルギー使用量も増え、環境経営目標の達成状況については灯油使用量、ガソリン使用量(横浜)、産業廃棄物削減(廃金属)について目標を達成することが出来ませんでした。それらの項目については是正・予防処置の実施により改善してまいります。

マイスターでは今年の方針としてDXによる間接業務のスマート化を掲げています。DXの推進による作業の効率化や優位性の確立などにより更に環境に配慮した取組としていきたいと考えております。その他空調機の入替えの検討や省資源化への取り組みなど次年度に予定している活動を進め、今後更に環境経営と事業活動を一体のものとして取り組んでまいります。

代表取締役社長 高井 糧

代表者による全体評価・見直し指示

見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1. 環境経営方針	無	全社共通とし周知徹底する
2. 環境経営目標	無	全社共通とし周知徹底する
3. 環境経営計画 ・取組項目	無	全社共通とし周知徹底する
4. 環境に関する組織	有	横浜営業所を環境活動組織に含める
5. その他のシステム 要素	有	ガソリン代について横浜営業所独自の項目を追加し、削減目標についても横浜営業所を含めた数値で評価する
6. その他(外部への 対応等)	無	環境関連法規については全社共通とし、環境コミュニケーション記録等も横浜営業所を含めるものとする



【経営方針・新組織・部門方針の発表】



【資格取得の表彰式】

